

緑区ホームサービス

発行 中日新聞緑支部

〒468-0055 名古屋市天白区池場1-1007

発行部数56,000部

TEL (804) 0107 / FAX (804) 1991 http://www.toyoake.co.jp/midori e-mail:midori@toyoake.co.jp

東日本大震災から3年 被災地は今

日本中を震撼させた東日本大震災。あの平成23年3月11日から3年がたとうとしていきます。テレビなどで、復興に向けて頑張っている被災地の様子を見掛ける

こともありますが、まだまだ問題は山積しているようです。被災地へ出向き被災された人たちと直接関わってきた3人に、お話を伺いました。

るうち、がれきはなくなり、仮設住宅が建設され、被災者を取り巻く環境も変化しました。「会うたびに笑顔が明るくなっている」と感じるそうです。



今村さん—子どものころかから監督海外に。国内にとどまらず海外へも取材に。受賞歴多数

「まずは現状を知ってほしい」

映像作家 今村 彩子さん(34)

大高町西丸根

「訪れた時 警報が鳴っている」とはがれきの山。掛ける 教えてくれ、逃げる言葉もなかった」と振とができたそうです。取り返ります。海辺での「教えてもらわなければ取材中には震度6の余ば分からなかった」震が起き、立っついたら「命に関わることに格闘する今村さんは、今も被災地の人たちと交流を

「まずは現状を知ってほしい」「聞こえない人や、日本語が分からない外国人などが地域にいたら、日頃から関わってほしい」と話

震災から11日後、被災地（宮城県）を訪れに行われる「緑区地域」今村さんは、それが「福祉のつどい」（JA）から2年4カ月間、被災地（本店）で上映された「聞こえない人」を撮り続けました。入場無料。映画「架け橋」自身も生まれつき聞こえなかった3・11「ろう」で、震災時「耳は、震災の中、ろう者が聞こえないため津波がどのように人と関わ警報が聞こえなかったり、避難したのかを取った」人がいたと知り、取材したドキュメント作居ても立ってはいられず被災地へ向かったと

品です。この映画は今年19日